

厚生財団

財団法人 新潟県教職員厚生財団
〒951-8516 新潟市中央区東中通1-86-73
TEL.025(228)3581
FAX.025(224)8830
URL <http://www.koseizaidan.or.jp>
E-mail info@koseizaidan.or.jp

KOSEIZAIDAN

新潟県の文化財シリーズ

燕市下粟生津の赤坂諏訪神社にある下粟生津四季生業図絵馬です。大きさは、縦120cm、横190cmほどで、4枚の杉板を連ねて作られています。裏面の記載から1819年の奉納と思われますが、作者は不明です。豊作と村の繁栄を祈願して奉納されたと考えられ、四季の農作業を中心に入々や建物、動植物が克明に描かれ、当時の生活や風俗を知ることができます。



理事長 小林 幹雄

新緑の映える時季を迎え、初夏の訪れを感じる今日この頃です。団員の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

5月24日(月)に第1回評議員会・支部長会を開催し、平成21年度の事業並びに会計決算、及び新役員の選任等の案件を承認いただきました。これで平成22年度の事業を推進できる態勢を確立することができました。

当財団の正味財産は、平成21年度末の会計決算において、資金運用の面では金融危機の影響を受け、前年同期より減少となりました。しかし、各種貸付(自動車・学資・入学)資金の面では順調に伸びて収益増となりました。これら資金運用面での収益減と貸付金収益の増加とを合わせ、結果として正味財産を3,700万円の減少で何とか留めることができたと考えています。今後は、経済状況の変化に対応できるように、これまでにも増して的確な情報収集に努め、経済状況の確実な分析を進めながら、さらに堅実な運用や事業展開を図っていきたいと考えております。

今年度は、法人制度改革では2年目の最終年の検討に入り、これまでの事業の見直しを行い、その法人形態の最終決定を行ってまいります。創立百周年記念事業では、来年度からの本格的準備に向けた取組を進めてまいります。また、新たに財団社屋の新築について検討を進めてまいります。これまで社屋は、平成16年度に耐久検査を行い、平成17年度から計画的に補修・整備などを行って維持管理してまいりました。そして、中越・中越沖の二度にわたる大地震による各地の被害が甚大だったことで、平成20年度に社屋の耐震検査を実施したところ、危険な建物であるとの判定を受けました。そこで、大規模改修か新築をするかの早急な判断を迫られることになりました。職員の生命や財産を守るとの観点で検討を重ねて、「現在地に新築をする(案)」を去る5月の理事会に提示し、承認をいただきました。今後は、社屋の新築推進計画を理事会で検討していきます。

総合健診(人間ドック)等の補助は、全団員が公平と感じることが大切です。そこで、実態に基づいて今年度から人間ドックの重複補助を行わないこととし、むしろ事業の予算内で多くの団員に補助する制度に改めました。皆様には、ご理解・ご協力をお願いいたします。

財団は今後も相互扶助の理念のもとに、福利厚生事業の充実を目指してまいります。一層のご支援をお願いいたします。



下粟生津四季生業図絵馬

燕市指定文化財

写真提供 燕市教育委員会
文 燕市立吉田小学校長 今井 文幸 様

第1回評議員会の開催

平成22年度の第1回評議員会を5月24日（月）に開催して、審議をいただいた結果、全ての案件を承認いただきました。

【主な内容】

- 報 告**
 - ・評議員の一部退任及び後任評議員の選出について
 - ・理事、監事の一部退任について
 - ・支部長の委嘱について
 - ・平成21年度事業報告について
- 議 事**
 - ・平成21年度会計決算及び監査報告について
 - ・基本財産処分について
 - ・理事、監事の選任について

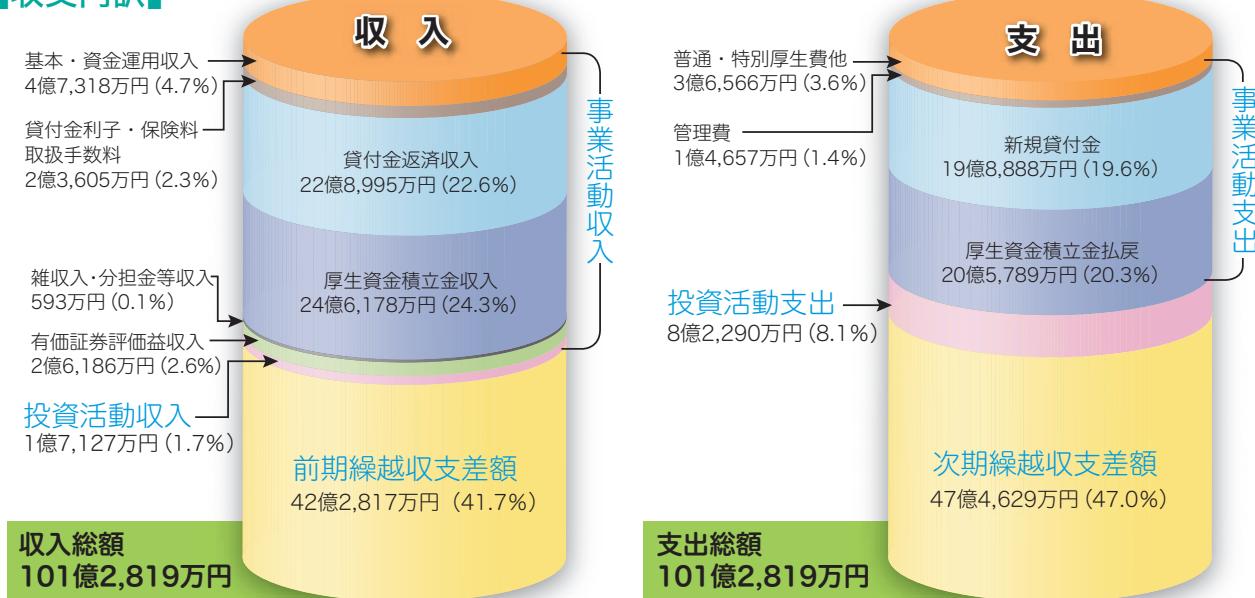


平成21年度 会計決算の概要

金融危機以降、景気は回復基調に向かっているといわれておりますが、依然として円高・ドル安が続いており、平成21年度の資産運用においても影響を受けることとなりました。そのため、平成21年度の会計報告は、有価証券の減損処理を行うことになり、正味財産減少額を計上することになりました。

しかしながら、この厳しい経済環境において、前年度に比べ経常収益が増加したことは、正味財産の減少に歯止めがかかってきたことを示すもので、今後の正味財産の増加が期待できるものと考えております。

■収支内訳■



平成21年度 事 業 報 告

◇ 団員数

	平成21年度末
現職団員	20,995人
継続団員	3,276人
合 計	24,271人

◇ 厚生資金積立金

	平成21年度末
現職団員	267億6,516万円
継続団員	67億9,348万円
合 計	335億5,864万円

◇ 新規貸付状況

種 别	件 数	貸付金額
生 活 資 金	807件	6億5,443万円
自 動 車 資 金	376件	6億3,175万円
結 婚 資 金	24件	4,630万円
入 学 資 金	76件	1億7,490万円
学 資 金	120件	2億2,290万円
災 害 資 金	3件	760万円
住 宅・宅 地 資 金	48件	2億5,100万円
合 計	1,454件	19億8,888万円

◇ 厚生費贈与事業

①普通厚生費	総額	1億3,647万円
	1人平均贈与額	5,623円
	年度末に全団員に贈与（個人の積立金に繰入れ）	
②特別厚生費		
	種別	件数
弔慰金	63件	720.0万円
災害見舞金	34件	390.0万円
病気見舞金	752件	1,502.0万円
香げ料	810件	1,607.0万円
結婚祝金	364件	1,787.5万円
就学祝金	897件	1,793.0万円
出生祝金	681件	1,347.0万円
多額積立記念品	1,902件	1,569.9万円
永年団員祝金	1,018件	3,072.0万円
合計	6,521件	13,788.4万円

◇ 生命保険団体取扱い事業（三井生命）

種類	平成21年度末	
普通保険	保有件数	7,773件
	保険金額	304億6,935万円
教職員年金制度	加入人数	2,439人
	加入口数	67,777口

◇ 厚生・あっせん事業

種類	内訳
総合健診等受診料補助	
総合健診（人間ドック）	545人
オプション検診	383人
退職準備金借入	3件
教職員手帳等	
教職員手帳	現職団員（希望者）と継続団員
クリアファイル	現職団員

平成22年度 法人制度検討委員会の取組（予定）

法人制度改善
に伴う対応
その5

平成21年度から始まった法人制度検討委員会です。平成21年度は、2回開催をし、「一般財団法人への移行」や「資金業法、保険業法の財団に与える影響」などについて検討を進めてきました。本年度は、7月開催の3回目からです。

I 法人制度検討委員会の日程と検討内容（案）

○3回目 平成22年7月20日（火）

- ①6月の資金業法、保険業法の見直しを受けて「定款」、「事業内容等」の見直しについて
 - ・新法に照らし合わせた上で、財団のこれまでの「規程・一部要綱」も含んだ検討。
- ②公益目的支出計画にかかる情報提供等について

◎ここで「定款案」を10月理事会へ答申する。10月理事会での承認を受けた後に11月に予定している臨時評議員会開催の可否を決定いただき、その評議員会へ提案をし、承認を受ける。

○4回目 平成22年11月下旬

- ①公益目的支出計画案について
 - ア. 基本的な公益事業案
 - イ. 支出（助成・寄付）先と年額等
 - ・全体をふり返って、総合的に問題点等を整理した後に、再度検討。

II 課題

- ①資金業法に対する財団としての問題点と対応策
 - ・政府・金融庁の見直しを受けて検討。
- ②保険業法に対する財団としての問題点と対応策
 - ・従来通りの事業実施が出来るかどうか検討。

新潟県教職員厚生財団「創立百周年記念事業」の準備状況について その3

平成22年度の百周年記念事業推進計画と百年史編纂計画が5月の理事会と評議員会で承認されましたので、概要をお知らせします。

百周年記念事業推進計画の要点

(1) 記念事業「新規事業の創設・提示」への着手

百周年記念事業の1つである新規事業の創設・提示に向けた取組を開始します。なお、新規に創設した事業は、記念式典の場で提示する予定です。そして、以後はずっと継続して実施する財団の事業となりますので、法人制度検討委員会との連携を図りつつ慎重にかつ綿密に検討を進めています。

(2) 全体計画の細案と各専門部計画細案の作成

全体計画細案作成とは、計画大綱をより具体的にした計画を作成し、各記念事業の準備スケジュール一覧表を付ける取組です。また、各専門部計画細案作成とは、全体計画細案に基づき各専門部が具体的な業務推進計画を作成する取組で、各専門部の業務推進スケジュール一覧表も付けます。

これらの取組を円滑に進めるために平成22年度には、6月と10月に百周年記念事業実行委員会を開催します。また、この3月末に定年退職によりご退任された佐藤 仁実行委員の後任として、本間 直也校長先生（県立高等養護学校）から新しい実行委員になっていただいているので、お知らせします。

百年史編纂計画の要点

(1) 3つの章の目的や性格の明確化

百年史は3つの章で構成します。第1章が財団百年の通史、第2章が財団百年の評価・総括、そして第3章が財団の新たな百年にむけての展望という構成です。第2章を核にする意図をもっていますが、他の章との重なりも予想されます。そのために、各章の目的や性格を一層明確にし、それぞれの章での執筆内容を吟味していきます。

こうした目的のもと、平成22年度は3回の編纂委員会を計画しています。そして、必要に応じて監修委員との合同会も取り入れ執筆開始に備えての準備も進めています。

(2) 執筆者との相談を綿密に行い、できるだけ執筆開始を早めること

執筆者との相談を密に行い、財団の意向を理解していただくとともに、執筆者のアイディアも積極的に出していただくことに努めます。

平成22年度 役職員体制のお知らせ

- 理事・監事の一部退任に伴い、新しい理事・監事が選任されました。………… 任期は平成23年5月31日までです。
- 評議員の一部退任に伴い、新しい評議員が選出されました。…………… 任期は平成23年3月31日までです。
- 支部長全員が任期満了となり、後任を委嘱いたしました。…………… 任期は平成24年3月31日までです。

◆顧問・理事・監事◆

職名	氏名	所属所名	職名	氏名	所属所名
顧問	藤巻徹	厚生財団	理事	山口又一郎	村上・村上 小学校
	野村昭宣	厚生財団		山岸真夫	長岡・表町 小学校
	坂井潔	新潟県学校生活協同組合		池山康栄	長岡・阪之上 小学校
理事長	小林幹雄	厚生財団		加藤誠雄	上越・大手町 小学校
副理事長	佐久間義久	新潟県教職員組合		小松隆	上越・大町 小学校
専務理事	吉沢嘉一郎	厚生財団		涌井幸夫	上越・城西 中学校
常務理事	内藤守	厚生財団		大滝祐幸	新潟高等学校
理事	中町毅	新潟県教職員組合		関谷不二夫	新発田 高等学校
	青野武夫	新潟県学校生活協同組合	監事	金澤壽一	小千谷・小千谷 中学校
	小島正一	新潟県学校生活協同組合		渡邊強	長岡・東北 中学校
	伊藤充	新潟・新潟 小学校		小島誠	新潟県教職員組合
	吉村正史	新潟・白新 中学校		藤井謙昌	三井生命保険株式会社新潟支社

◆評議員・支部長◆ 【 ■ … 評議員】 【 ■ … 支部長】

支部	氏名	所属所名	支部	氏名	所属所名	支部	氏名	所属所名
新潟	齊藤正隆	小針 中学校	十日町	鈴木道南	中学校	北蒲原郡	岩田一郎	亀代 小学校
新潟北	逢坂健太郎	葛塚 小学校		尾身辰二	十日町 小学校		高口和治	聖籠 中学校
新潟東	武藤信男	東山の下 小学校	見附	高野富士雄	西 中学校	西蒲原郡	服部裕行	弥彦 中学校
新潟中央	杉中宏	浜浦 小学校		長谷川清	見附 小学校		黒部道雄	弥彦 小学校
新潟江南	近藤文男	龜田 小学校	村上・岩船	横山吉夫	朝日みどり 小学校	南蒲原郡	樋口米満	羽生田 小学校
新潟秋葉	長谷川義郎	新津第一 小学校		小田智美	山北 中学校		安中長市	田上 中学校
新潟南	杉山和敏	大通 小学校	燕	大平敏夫	分水 中学校	東蒲原郡	石部久	阿賀津川 中学校
新潟西	熊倉忠夫	青山 小学校		今井文幸	吉田 小学校		橋谷田裕治	日出谷 小学校
新潟西蒲	五十嵐幹郎	巻北 小学校	糸魚川	高橋守	糸魚川 小学校	三島郡	吉田一郎	出雲崎 小学校
新潟市中学校	斎数行高	大江山 中学校		陸川洋	糸魚川 中学校		土屋和也	出雲崎 中学校
長岡	東文雄	中島 小学校	妙高	竹内修一	姫川原 小学校	中魚沼郡	星名哲也	中津 小学校
	長谷川浩司	南 中学校		流石光信	妙高高原 中学校		小笠原秀夫	津南 中学校
上越	後藤清代	東本町 小学校	五泉	尾組晃	川東 小学校	高等学校	北進司	新潟商業 高等学校
	清水哉子	八千浦 中学校		藤村郁也	村松 小学校		小島正芳	三条 高等学校
三条	丸山修	三条 小学校	阿賀野	広瀬松司	水原 中学校		森久	高田北城 高等学校
	古川正巳	栄 中学校		伊藤喜一	水原 小学校		市橋浩	新潟中央 高等学校
柏崎・刈羽	田中俊範	刈羽 小学校	佐渡	吉田久人	金井 中学校	特別支援学校	白岩嘉之	はまぐみ 養護学校
	佐藤正人	鏡が沖 中学校		山川辰也	金井 小学校		大野俊哉	高田 養護学校
新発田	小谷太一郎	第一 中学校	胎内	津野幹夫	胎内 小学校	大学	土田淳慈	新潟大学 工学部
	浮須與志夫	御免町 小学校		山崎明	築地 中学校	新事研	平澤由美子	燕東 小学校
小千谷	佐藤正則	東小千谷 小学校	魚沼	高橋健一	小出 小学校			
	新保哲衛	小千谷 小学校		涌井昭夫	堀之内 小学校			
加茂	坂井俊美	葵 中学校		島村文男	城内 小学校			
	米山忠彦	加茂 小学校	南魚沼	林正栄	六日町 中学校			

※「新潟支部」再編
小学校は政令指定都市の各区に、中学校は市全体で一つに、新しく支部を設置いたしました。

◆厚生財団職員

事務長	笹川勇治	部長	安田典彦	主査	高野トメ	主任	田中英幸
主任	茂野恵子	主任	山口隆行	書記	神田千里	書記	渡辺美季
百年史編纂委員会		事務局長	田中正二	事務局次長	齋藤道春		

総合健診（人間ドック）等補助制度について

団員の皆様からいただいた補助制度に関する質問やお問い合わせの中から、とくに多かった今年度に行った是正に関する内容とオプション検査の取り扱いについてお知らせします。

今回の是正の目的は団員同士の公平性を確保することです

これまで市町村の国民健康保険組合の補助を受けるときには、厚生財団でも重複を認めて人間ドックの補助を行ってきました。しかし、平成21年度に健診機関を拡大して補助対象が増えたことによって、多くの継続団員が国民健康保険組合から補助を受けていたことが分かりました。厚生財団では、重複を認めていない他の補助・優待制度と比べて公平性に欠く要因であるとして、制度の見直しを図りました。

見直しにあたっては、重複して補助をしないということを前提に進めました。これは人間ドック補助・優待制度が他にも様々ある中で、人間ドックを格安で受診できるようにすることだけでなく、他の補助を受けられない団員に一人でも多く受診機会を与えていくべきという考え方からです。こうした考え方のもとに是正を行い、また、限られた予算と事業計画に沿って、今年度からの新しい補助制度を実施しています。

今回の是正では継続団員の方々が影響を受けることになりましたが、全団員に公平に補助する機会を持つということを踏まえて、何卒ご理解をお願いします。

各共済組合や国民健康保険組合の補助制度などを利用するときはオプション検査の補助をします

他の補助・優待制度を利用して人間ドックを受診するときは、自己負担で付加されたオプション検査部分を補助します。オプション検査請求の内容と手続きは次のとおりです。

オプション検査補助 1千～4千円

【補助対象】 肺がん検診（ヘリカルCT）／肺がん検診（喀痰細胞診）／C型肝炎検査／前立腺検査／マンモグラフィ／子宮頸がん検査／大腸がん検査（便潜血法）

オプション検査の補助を受けるには（手続き方法）

現職団員は厚生財団へご請求ください

補助金をご本人口座へ送金します。

⇒ **請求手続き**

継続団員は受診機関によって手続きが異なります

財団の契約機関で受診するときは、支払い時に請求金額から直接差し引きます。

【財団契約5機関】 ⇒ **申込手続き**

他団体とは別に、厚生財団にも人間ドックのお申し込み手続きが必要です。

【契約5機関以外】

【財団契約5機関】 新潟県健康管理協会／健康医学予防協会／上越地域総合健康管理センター

新潟県労働衛生医学協会／新潟県保健衛生センター

⇒ **請求手続き**

請求手続き	受診後に郵送	申込手続き	受診前に郵送またはFAX
<ul style="list-style-type: none"> ・総合健診等の受診料補助金請求書 ・受診料支払い時の受領書の写し (オプション検査の確認ができること) 		<ul style="list-style-type: none"> ・総合健診受診予約申込カード (総合健診受診要項から切り離して、お使いください) 	

全額自己負担で受診するときは人間ドックとオプション検査の両方を補助します

契約5機関とそれ以外の健診・医療機関とで手続きが異なります

◆◆ 各事業のご案内 ◆◆

永年団員祝金

該当される方へ7月中にご案内を差し上げます

平成9年度以降に入団された方へ在団年数に応じて永年団員祝金を贈与します。
(平成8年度以前に入団された方には経過期間分を一括して退職時に贈与します。)
ご案内が届きましたら送金先口座についてお知らせください。

【対象者】 平成11年度入団者（在団年数10年）

【送金日】 平成22年9月30日(木)

【贈与額】 10,000円

クリアファイル

現職団員の皆様に
お届けします

発送予定 7月

積立金100万円を超える毎に 多額積立記念品

平成22年3月31日時点を基準として該当の方へ
お届けします

発送予定 9月

教職員手帳 ポケット版 ダイアリー版

現職団員はいずれか希望した方を贈呈します（登録制）
継続団員にはポケット版を贈呈します

平成23年度版

発送予定 12月上旬

~長年のご支援に感謝の意を込めて~「退職を祝う会」を開催いたしました!

当財団の運営に長年ご尽力いただいた団員の皆様へ感謝の意を込めて、平成21年度末に退職された方々(在団年数25年以上)を対象にご招待し、6月に県内3会場で「退職を祝う会」を開催いたしました。



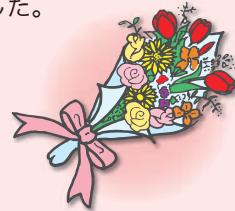
◀上越会場



▲中越会場



◀下越会場



懇親会では旧友との久し振りの再会を楽しまれるなど、ご好評のうちに終えることができました。ご多用の中、たくさんの方々にお集まりいただき、誠にありがとうございました。

県立高等学校の団員の皆様へ『総務事務システム制度への対応』

県の総務事務システム制度への対応として、県立高等学校の団員の方々に毎月所属所経由でお届けしております「払込金のお知らせ」(厚生財団払込金・残高明細)に限り、平成23年1月より個人住所宛にお届けすることにいたします。

現在、そのことに伴う住所登録作業の準備を進めております。9月に入りましたら所属所の厚生財団係様経由で登録のための手続用紙をお届けいたしますので、速やかに手続きをお願いいたします。

★あなたの「将来の安心」をお約束します★

BESTパートナー
三井生命



新登場

こたえる保険
ベクトルX



現在当社をご加入いただいている
ご契約者さま向けの転換専用商品です。



積立保険+医療保障の新商品

メディストック

詳しくは
担当職員まで♪

厚生財団皆様の様々なニーズにおこたえし、生活設計のお手伝いをさせていただきます。
弊社の担当職員がご訪問させていただいた折にはお気軽にお声をお掛け下さい。

新潟支社 〒950-0087 新潟県新潟市中央区東大通1-3-10 三井生命ビル8F
TEL 025-243-6877 D-22-1442(H22.5) 使用期限H23.3